

国土交通省では、昨今の甚大な豪雨被害をふまえ、自然災害から命を守るために防災教育支援の強化に務めています。

令和2年8月31日(月)に愛知教育大学附属名古屋小学校で実施された授業では、子供達が災害について事前に調べた事を発表・意見交換をしました。授業の中で、「川の防災情報」を紹介するなど、災害への備えや自らの命は自ら守る意識をもっておくことの大切さを伝えました。



4年1組の授業風景



災害への備えについて説明する事務所職員



4年2組の授業風景

【参加者】
愛知教育大学附属名古屋小学校 4年1組、2組 66名

こんな質問がありました。

- 東海豪雨と同じくらいの雨が降るとどうなるの？
- 短時間に大雨が降った場合どうなるの？
- 台風時と地震時の水位の上がり方は違うの？

その他にもたくさんの質問や意見がありました。
また「家で授業のことを話します!」といった声もありました。